TOPICS

令和7年度「こども霞が関見学デー」の開催

総務課

1、「こども霞が関見学デー」について

「こども霞が関見学デー」は、平成８(1996)年度から毎年、文部科学省が「こども見学デー」の一環として実施しているイベントです。霞が関に所在する各府省庁等が連携し、子供たちを対象に事業説明や職場見学等を行うことにより、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とし、親子のふれあいを深めることを目的としています。各府省庁等の特色を活かし、小・中学生等を対象に様々なプログラムを設けて実施しています。

2、令和７年度の開催について

今年度は８月６日（水)、７日（木）の２日間にわたって開催されました。消防庁では、「消防の仕事」を楽しみながら学び、身近に感じてもらうため、『消防士の仕事を体験してみよう！』と題し、東京消防庁協力の下、各種ブースを設けました。今年度は新たなプログラムとして、先行車（電動トライク）に体験乗車し、写真撮影を行う「電動トライク乗車体験」を実施し、合計６つのプログラムを実地開催しました。

また、実地開催にご参加いただけなかった子供たちに向けて、消防の仕事や防災について学ぶことができるオンラインコンテンツも用意しました。

参加した子供たちは、各プログラムを通じて、普段体験することができない消防の仕事を体感し、目を輝かせ、楽しみながらも時折真剣な表情で学んでいました。

総合受付の様子

２日間の開催で、約370名の子供たちにご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

災害に負けるな！～災害を疑似体験しよう～

VR※防災体験車によって、VR技術を活用し、火災、地震、風水害の防災訓練を体験するプログラムです。今回は、バーチャル空間でそれぞれの災害を疑似体験することにより、実災害の恐ろしさを知ることで、命を守る行動について学ぶことができました。子供たちは、リアルな映像・振動に思わず声が出たり、手で頭を押さえたりと、VRを通して災害発生時の恐ろしさを感じ取っていました。

※「Virtual Reality」の略で、仮想的な空間を現実であるかのように体験できる仕組み。

火事だ！火を消せ！
～消防服を着て、ホースと筒先で放水しよう～

消防服とヘルメットに身を包んだ未来の消防士たちが、放水体験を行うプログラムです。炎に狙いを定めて、放水による水圧に負けないようにしっかりと筒先を持ち、頼もしい姿で真剣に取り組んでいました。

命を救え！～心臓マッサージ、AEDを体験しよう～

心臓や呼吸が止まった傷病者を社会復帰に導くためには、バイスタンダー※による一次救命処置が非常に大切です。子供たちはいざという時のために、初動の対応、心臓マッサージの方法やAEDの使い方を学び、心肺蘇生法の一連の動作を体験しました。

※ けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人。

電動トライク乗車体験

電動トライクは、火災現場等への災害出動の際、道路が狭隘な地域でもいち早く現場に到着し活動にあたることを目的として、東京消防庁に配備されている車両です。このブースは、電動トライクに体験乗車し、消防士の目線を体感することができるプログラムです。消防服姿で乗車し思い出の１枚を撮影することができました。

リアルを体感せよ！ ～ARゴーグルで防災体験訓練をしよう～

AR※ゴーグルを用いて、現実空間に仮想の火災を発生させ、手元のコントローラーを操作することにより、初期消火を体験するプログラムです。火災によって発生した煙が瞬く間に天井まで充満する映像が流れる中、子供たちは落ち着いて消火器による消火活動を行い、限られた噴射時間の中で無事消火することに成功していました。体験を通じて火と煙の恐ろしさについて学ぶことができました。

※「Augmented　Reality」の略で、仮想の情報やコンテンツを現実世界に重ね合わせることにより、現実を拡張し体験できる仕組み。

東京消防庁音楽隊による演奏会 ※７日のみ

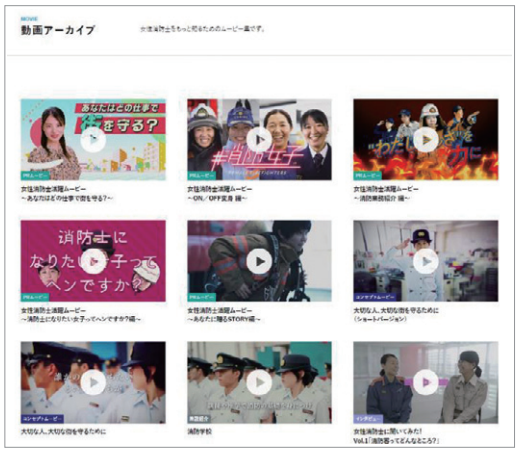
中央合同庁舎第２号館１階アトリウムにおいて、東京消防庁音楽隊によるミニコンサートを開催しました。「ミッキーマウス・マーチ」、「マリーゴールド」や「ハローファイヤーマン」など、アンコールも含め全６曲をカラーガーズ隊の圧巻の演技とともに演奏していただきました。会場に響く音色に子供たちや保護者の方々のみならず、昼休憩中の総務省職員も聞き入っていました。

4、オンラインコンテンツのご紹介

消防の仕事を学ぼう！
～女性消防士の動画を通じて消防の仕事を学ぼう～

消防＝男性だけの仕事ではありません。現役の女性消防吏員が出演し、消防吏員の仕事について動画で紹介しています。

https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/special/movie.html



こども ぼうさい ランド
～クイズ形式で災害について学ぼう～

幼年から小学校低学年の子供たちを対象に、災害についてクイズ形式で学ぶことができます。

https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/

わたしの防災サバイバル手帳
～クイズ形式と図解で災害について学ぼう～

大災害が発生した場合、どんな混乱が待ち受けているのか、救援が来るまでのあいだを生き抜くための知識を、クイズや図解を交えて親しみやすい内容として、楽しみながら学習できるようにしている「防災を身近に感じてもらうためのハンドブック」です。

https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/activity/education/bousai/survival/

おわりに

本イベントにおいては、多くの子供たちにご来場いただき誠にありがとうございました。

消防庁では今後も、子供たちに消防の仕事について理解を深めてもらえるよう広報活動を行ってまいります。

全国消防イメージキャラクター「消太」と電動トライク

問合せ先
消防庁総務課
TEL: 03-5253-7521